



サステナブルなMICE開催に向けて

ウォークアブルなまちで開催する

高松では、主要なコンベンション施設は、JR高松駅から徒歩圏内にあり、多くの宿泊施設はコンベンション施設から徒歩圏内に点在しています。

MICE開催地として、ウォークアブルなまちを選択することで、CO2排出量の削減に繋がります。

伝統工芸品を記念品に

後継者不足や需要の減少により失われつつある伝統工芸品を購入することは、日本の文化を守り、持続していくことに繋がります。また、天然素材を用いて手作業で作られることも多く、環境への負荷が少ないため、非常にサステナブルな商品です。

■香川県の伝統的工芸品

伝統的工芸品とは伝産法に基づき、経済産業大臣が指定した工芸品の正式名称のことです。

環境に配慮したコンベンション施設で開催する

■かがわ国際会議場、展示場、サンポートホール高松

高松シンボルタワーでは、施設で使用する全電力を再エネ電力に切替えたことから、施設に入居する香川県施設、高松市施設及び全てのオフィス・商業テナントが再エネ由来100%の環境価値のついた再エネ電力を利用していることが認められます。

■サンメッセ香川、香川県県民ホール、あなぶきアリーナ香川

あなぶきエンタープライズ株式会社は、指定管理者事業において、国際規格ISO14001環境マネジメントシステムの自己適合宣言を行いました。

会議施設情報は

こちら
(高松観光コンベンション・ビューロー)



サステナブルなMICE開催に向けて

歴史的建造物、文化施設や公的空間 などユニークベニューの活用

「ユニーク」=「特別な」、「ベニュー」=「会場」という名の通り、「特別な会場」でイベント等を実施し、「特別な体験」を提供するという方法で、特別感や地域特性を演出することができる取り組みです。文化財の保全や理解促進にも繋がります。

(一例)

- [栗林公園](#) [商工奨励館](#)
- [玉藻公園](#) [披雲閣](#)
- [高松中央商店街](#) [ドーム広場](#)
- [高松市屋島山上交流拠点施設](#) ([やしまーる](#))
- [女木島](#) [鬼の館](#)
- [四国水族館](#)

環境活動をプログラムに取入れる

- [環境活動団体等のご紹介](#)
環境活動団体の情報です。
(リンク先：高松市公式HP)

特別な体験を提供するエクス カーションを計画

参加者に地域の魅力を伝えるツアーや文化プログラム、SDGsツアーを提供することで、認知度向上や理解の促進に繋がります。

■ [SDGs 観光コンテンツ・体験](#)

(リンク先：[うどん県旅ネット](#))

■ [持続可能な観光](#) (サステナブルツーリズム)

四国の取り組み事例・体験プログラム
(リンク先：[四国ツーリズム創造機構](#))

■ [伝統工芸と地場産品の体験スポット](#)

(リンク先：[うどん県旅ネット](#))

■ [着地型旅行「ぷち旅プラン」](#)

地元でもあまり知られていないコトをツアーにして、高松を紹介しています。
(リンク先：[高松観光コンベンション・ビューロー](#))



サステナブルなMICE開催に向けて

(香川県・高松市でできるエシカル消費)

地元の産品を消費し、地域経済の 活性化につなげる

■ かがわ地産地消協力店

県産農林水産物を手軽に購入でき、食べられるお店です。(香川県登録制度)

■ オリーブ飼料を給与した畜産物

全国の収穫量の99%を占める香川県産オリーブ。オリーブオイル採油後の産業廃棄物として処理していたオリーブの搾り粕ですが、これを乾燥させ家畜の肥料にしています。

(リンク先：讃岐三畜銘柄化推進協議会)



プラスチックの利用を減らす

■ かがわプラスチック・スマートショップ

プラスチックごみの削減に取り組んでいるお店です。(香川県登録制度)

■ たかまつ給水スポット

マイボトルに無料で冷たい水を給水できます。ペットボトルなどのプラスチックごみ削減にご協力ください。



食品ロスの削減に取り組む

■ かがわ食品ロス削減協力店

食品ロスの削減に取り組むお店です。(香川県登録制度)

■ フードドライブ

使いきれず余ってしまった食品は、支援を必要としている人へ届けよう(香川県登録制度)



サステナブルなMICE開催に向けて

カーボン・オフセットを取り入れよう

日常生活や経済活動において避けることができないCO₂等の温室効果ガスの排出について、まずできるだけ排出量が減るよう削減努力を行い、どうしても排出される温室効果ガスについて、排出量に見合った温室効果ガスの削減活動に投資すること等により、排出される温室効果ガスを埋め合わせるという考え方です

会議・イベント開催において、省カーボン・オフセットを実施することは、主催者、参加者双方の意識の啓発と主体的な排出削減努力等も期待され、地球温暖化対策として有効です

■ 会議・イベントにおけるカーボン・オフセットの取組のための手引き
(環境庁)

■ 国際会議の開催にかかるCO₂排出量測定モデル
(観光庁)

■ J-クレジット制度及びカーボン・オフセットについて
(環境庁)

■ J-クレジット制度について